



変化朝顔展

共催：広島あさがお研究会

令和元年8月24日(土)～9月1日(日)

全曜日休園

8/25
(日)

10時～11時

変化朝顔展
解説

職員による変化朝顔の
解説があります。



- 開園時間 午前9時～午後4時半(入園は4時まで) ■休園日 毎週金曜日
- 入園料 大人510円、高校生および18歳未満170円、中学生以下無料、65歳以上であることを確認
できる公的証明書(健康保険証、運転免許証など)を提示された方は170円
- 入園料の免除 身体障害者手帳などを提示された方(コピー不可)
- 駐車料 軽・普通自動車450円、中・大型車1,380円
- 駐車料の免除 身体障害者手帳1・2級、療育手帳㊤・A などをお持ちの方が利用される軽・普通車



広島市植物公園

広島市佐伯区倉重三丁目495番地
TEL (082) 922-3600
FAX (082) 923-6100
<http://hiroshima-bot.jp>

江戸の園芸文化を今に伝える

変化朝顔とは？

変化朝顔は、珍しいものが好きだった江戸時代の人たちが発展させた園芸植物です。糸のような葉、多肉植物のような姿、撫子のような花、八重咲の花、一見アサガオに見えない珍しいものがあり、これらはみな突然変異によるものです。



殖やし方は？

おしべが無くなるなどの突然変異で種子が採れなくなった変化朝顔は、どうやって絶やすことなく今に伝えられたのでしょうか。メンデルの遺伝の法則を知らなかったはずの江戸時代の人たちは、長年の経験から一見正常に見える親世代のアサガオから一定の確率でこのような変わった朝顔が生じることを知っていました。

変化朝顔の試験播き
比較的正常な株に交じて変わった朝顔が一定の確率で生じる。

名前の不思議

例えば、右写真の変化朝顔の名前は「あおふりりやなぎはむらさきふくりん青斑入柳葉紫覆輪むらさきなでしこさいざき紫撫子采咲」。一見難解な名前ですが、呼び方にはルールがあり、それを知っていれば、この株にどのような遺伝変異が現れているのかが分かります。



※ アサガオは朝咲く植物なので、午前中の観賞をおすすめします。

※ このチラシに掲載した変化朝顔と同じものが今年も現れるとは限らないことを、ご了承ください。

交通案内

- バス(広電)
広島バスセンターから植物公園経由薬師が丘団地行きで約40分
JR五日市駅北口から植物公園経由薬師が丘団地行きで約20分
- J R
山陽本線五日市駅下車、北口から植物公園経由薬師が丘団地行きで約20分、タクシーで約10分
- 電車
広電宮島線五日市駅下車、植物公園経由薬師が丘団地行きバスで約20分
- 乗用車
市内中心部から約30分、五日市インターから約15分、廿日市インターから約15分

案内図



広島市植物公園

広島市佐伯区倉重三丁目495番地
TEL (082)922-3600
FAX (082)923-6100
<http://www.hiroshima-bot.jp/>
※イベントの内容は一部変更になる場合があります。